

万有シンポと共に25年—更なる発展を！

東北大学名誉教授 平間正博

最初に、万有仙台シンポジウムを25回も続けてくださった萬有製薬株式会社(現、MSD株式会社)の英断と(財)万有生命科学振興国際交流財団の方々のご努力とご厚意には心から御礼を申し上げたい。鈴木國夫さんをはじめとする萬有製薬の方々のお世話で、第1回の(万有)仙台シンポジウムが開催されたのが、1990年。あれからもう24年も経ち、今年で第25回を迎える。1989年、第1回札幌シンポジウムに参加して万有シンポジウムの目的・心意気に共感した。教授になり立てで意気盛んだった私は、仙台の有機合成化学研究者や学生が一堂に会する機会を作って仙台の有機化学を盛り上げたいと考えて、「是非とも仙台シンポジウムを開催して欲しい」と鈴木さんをお願いした。

縁があって、私が第1回から5回目までのオーガナイザーを勤めさせていただいた。「生物応答と分子機能に貢献する有機合成」というテーマで、「できるだけ若手を中心にしてシンポジウムのスピーカーを選ぼう」と努めた。その後、在仙の多くの先生方や学生さん、国内外の講演者の方々のご協力によって、もう、今年は第25回目である。私も既に還暦を越えて名誉教授である。2002年に病気をして以来、組織委員から「名誉」組織委員にさせていただいて、最近は満足に参加さえしていない。

しかし、オーガナイザー組織委員の上田先生から、第25回記念に、「万有仙台シンポジウムの歴史(設立の経緯と目的)について話せ」との命令である。当時を振り返り、今後の更なる発展を期したい。